



平素より本プログラムをご支援頂き誠に有難うございます。

コロナ禍に見舞われて3年目となった2022年は、夏以降にコロナに対する日本政府の方針が大きく変わりました。今回は政府のコロナ規制緩和で開催が可能となった様々なイベントの状況についてご報告いたします。

## 2022年度 企業交歓会を開催しました！

2022年度も年の瀬が押し詰まった12月13日、恒例の企業交歓会を、コロナ禍以降では3年ぶりにオンサイトで開催しました。

交歓会当日、朝方まで残っていた雨は通勤時には上がり、薄日が差し始めたお昼過ぎ、イベント開始時間の空には虹が出ていました。まるで日中友好の懸け橋となる本プログラムを象徴するような景色に、明るい気持ちになった今年の企業交歓会には、年末のお忙しい中、スポンサー企業様から今年もソマール株式会社、そして株式会社堀場製作所の2社より4名の皆様にご参加くださいました。

また学生は、来日中の清華大17・18期生全員の12名、東工大生は15期生から17期生までの4名が会場に集まり、学生は総勢16名が一同に会しました。加えて、プログラムの中盤では北京の清華大学に留学中の東工大18期生5名のうち4名（授業のため1名欠席）と、北京事務所の王亜民さんがZoomで参加しました。



会場10Fの部屋からの紅葉の景色\_空には虹が！

久しぶりに対面での開催となった今回は、参加した皆さんが出来るだけ直接話が出来る環境を作るべく、感染予防対策を徹底した会場で参加者が輪になって座り歓談する形式を取りました。



広い会場で徹底した感染予防対策と距離をとってのフリートークタイム

企業様毎に2つのグループに分かれて始まった交歓会は、まず学生が順番に自己紹介を行い、その後はフリートークタイムとしました。

最初はやや緊張した表情の学生もいましたが、企業様の気さくなご対応のお陰で次第に笑い声も聞かれるようになり、すぐに

和やかな雰囲気ですぐに弾んでいるようでした。

そして時間が経つにつれて、各グループとも学生が身振り手振りを交えて質問をしていたり、企業の方が熱心に学生の話にお応えされ、またしきりにメモを取っていらっしゃる姿もみられました。皆さんが話に集中していて、気づけば前半30分間があつという間にタイムアップとなりました。

ブレイクタイムを挟んで後半は、まずZoomで北京と結びました。スクリーンには清華大学に留学中の東工大18期生と王亜民さんが登場しました。大岡山の会場にいた清華大生は、王亜民さんの姿を、懐かしそうに満面の笑みを浮かべていたり、さかんに手を振る学生もいました。



Zoomで北京の東工大18期生と結んで

このライブ中継では、北京に渡航してまだ日の浅い東工大生から、当時はゼロコロナ政策が徹底されていた清華大学での生活についてレポートしてもらいました。それによりますと、キャンパスの外には自由に出入れない状況である事や、清華大学の学生寮での生活について、とりわけ6つもあるという学食について、特に詳しい話を紹介してくれました。彼らの話に、大岡山会場の皆さんも食い入るように聞き入っていました。



北京会場と大岡山会場の皆さんとで記念撮影！

また北京と日本の会場とで質問タイムを設けるなど、ライブ中継ならではの臨場感ある時間を楽しんで頂きました。

そしてこのライブ中継の最後には、スクリーンに映る北京の皆さんと、大岡山会場の皆さんとで記念撮影を行いました。

その後、後半は学生グループを入れ替えて2回目のフリートークタイムを行いました。この歓談タイムでは企業の方々へ積極的かつ熱心に質問する学生の姿があり、30分間という時間はやはりあつという間に過ぎてしまいました。タイムアップ後もしばらく話し込む姿も見られましたが、最後には大岡山会場の皆さんで、もう一度記念撮影を行い、この日のプログラムは無事終了しました。

後日寄せられた感想には、企業の方々からは：

「3年ぶりでしたが、皆様とお話できて楽しかった」「学生の方々からも、多くの質問を頂き、時間が足りないくらいだった」「長期的視野で考えられている方が多いなと感じ、自身も良い勉強になりました」「一人一人の学生さんと様々な話題についてお話できたので、従来より多くの学生さんと直接のCommunicationが取れるという意味で良かった」などお寄せ頂きました。

また学生の皆さんからも：

「コロナの中、対面での開催となって本当に嬉しかった。」「企業の方々とお話では、コロナ禍の中、ビジネスが非常に困難な状況であるという話から、中国はビジネスでも文化的にも非常に重要な国というお話まで、とても勉強になった。」「（コロナ禍のため）大学になかなか行かないので、この機会にたくさんの清華大学の学生たちと会えて、とても楽しい時間を過ごすことができた。」「清華大学側の学生とはもっと交流の機会があればと思っていたところだったので、その点でもありがたい機会でした。」「とても充実した、楽しい一日で、2時間があつという間でした」などの感想をもらいました。

今回のオンサイト開催を経験し、人と人が実際に会って話をすることの大切さを運営側も実感しました。

今後もコロナの感染状況を踏まえつつ、出来るだけ対面で交流する機会を増やしていくべく、イベントを企画して参ります。

皆さま、この度はご参加を頂き有難うございました。



最期にもう一度大岡山会場の皆さんで記念撮影！



## Farewell交歓会 Feb.2023 は中止に

2023年2月10日(金)に開催を予定してた「Farewell交歓会 Feb. 2023」は中止となりました。

2月に入り、東京では立春を過ぎた頃より春らしい日差しが感じられる日が続いていましたが、「Farewell交歓会」開催前日あたりから関東にはこの冬一番の寒気が南下しはじめ、国土交通省と気象庁は都内で予想される大雪に備えるよう異例の警告を発する状況となっていました。

そして開催当日、大岡山キャンパスでは出勤時にはちらつく程度だった雪が、その後急変し横殴りの雪になりました。地面への積雪も認められたため、その時点でプログラム運営委員長と協議し、その後の降雪の影響が交通機関に及ぶ事などを懸念し、参加者への安全配慮を最優先に考えた結果、当日午後には予定されていた「Farewell交歓会」の開催を中止する事としました。

今回3年ぶりにオンサイトで開催予定だった「Farewell交歓会」では、中国に帰国する清華大17期生Hua Ruiさん、SHI Xinranさん、そして清華大に渡る東工大17期生の三浦皓さんの3名の皆さんを壮行すべく、お招きしたスポンサー企業様や研究室の指導教員、また学外からのゲストの皆さまや運営委員会のメンバーなど、多くの方々と歓談し交流する場となるはずでした。しかし自然の猛威にはかなわず、開催を断念せざるを得なくなったことは大変残念でした。

今月帰国するHua Ruiさんは昨年9月の来日から約5カ月間、SHI Xinranさんは去年7月の来日から約7カ月間の日本滞在でした。通常より短い日本滞在期間でしたが、それぞれに研究室での研究活動や日本各地への旅行にと、日本滞在中の時間を最大限に活かして充実した日々を送ったようです。

また東工大生の三浦さんは、本来ならば2021年夏から1年間清華大に行くはずでしたが、コロナの影響でそれが叶わず、同期の学生達が次々に渡航を断念せざるを得なかった中でも、修論発表のタイミング等を調整し、やっとこの2月に北京に渡ります。渡航後、今夏までの短い期間となりますが清華大での研究に邁進するとの事で、北京では先に留学生生活を始めている東工大18期生の皆さんと合流し、更に今回帰国する清華大生とも北京で交流を続けつつ、現地での研究生活を充実させる予定との事です。

\* その後、三浦さんは2月中旬に渡航し、Huaさん、Shiさんも2月末に北京に無事戻りました



東京23区と多摩地方に大雪警報 気象庁

2023年2月10日 11時23分

出典：NHK WEBニュース

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230210/k10013976931000.html>

昨夏の清華大プログラム生の来日以降、東工大と清華大のプログラム生同士が直接顔を合わせる機会を作れるようになり、学生同士が直接会って言葉を交わす事が出来るようになりました。学生同士はそれぞれ積極的に繋がっているようで、早速一緒に食事に行ったり遠出をしたりと、親交を深めているとの報告ももらっています。コロナ禍では長くオンラインでの交流を試みてはいましたが、こういった話を聞くにつけ、やはり直接会って交流するに勝るものはない、と実感しています。

今年の春以降は日本国内でもほぼコロナ以前の生活様式に戻る予定です。本プログラムでも、リアルにプログラム生の皆さんや関係者の方々が集まり交流出来る機会を増やしていきたいと思います。



清華大17期生 Hua Ruiさん



清華大17期生 Shi Xinranさん



東工大17期生 三浦 皓さん



## コロナ関連記事記録

出展： NHK特設サイト: <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/chronology/?mode=all&target=202210>

- 2022.10.11 水際対策が大幅に緩和され、入国上限撤廃\_個人の外国人旅行者の入国も解禁  
→これで入国制限はほぼコロナ禍前の状態に戻る事になった
- 2022.10.19 外務省は新型コロナの感染状況が世界で総じて改善してきているなどとして、「感染症危険情報」のレベルを引き下げ、これにより渡航自粛を要請する国がなくなった。
- 2022.10.20 新型コロナ専門家会合で新規感染者数が増加に転じ、増加傾向が続く可能性があり「第8波」が起きる可能性が非常に高いと分析
- 2022.10.28 オミクロン株の新たな変異ウィルス[XBB] 東京都内で初確認
- 2022.11.11 中国 新型コロナ対策 入国者の隔離期間短縮など対応見直し  
→中国政府は新型コロナウィルスの感染対策について、入国者や濃厚接触者に義務づけていた施設での隔離期間を短縮するなど対策を見直すことを明らかにした。
- 2022.11.17 東京都 新型コロナ「第8波の入り口に」警戒レベル1段階引き上げ
- 2022.11.20 - 12.18 FIFAワールドカップカタール大会開催
- 2022.11.22 北京 コロナ感染者1000人超える 日本人学校はオンライン授業に
- 2022.11.30 10月の外国人宿泊者数 去年の7倍近くに 水際対策大幅緩和で  
中国 大規模抗議活動 大学はオンライン授業に
- 2022.12.01 中国 「ゼロコロナ」見直しか 副首相政策継続に言及せず
- 2022.12.16 コロナ対策緩和の中国で感染拡大 日本人多い上海で警戒広がる  
→新型コロナウィルスの感染対策の緩和に踏み切った中国では、北京などで感染が急拡大していて、最も多くの日本人が暮らす上海でも、日系企業が在宅勤務に切り替えるなど、感染拡大の警戒がひろがっている。
- 2022.12.21 新型コロナ 全国感染者 約4カ月ぶりに20万人超
- 2022.12.25 中国政府 新型コロナの感染者数や死者数の情報 発表とりやめ
- 2022.12.27 中国 コロナ水際対策見直し 1月8日から入国者の隔離措置の撤廃へ
- 2022.12.30 中国からの入国 30日から臨時的な水際措置 成田空港で検査  
→中国で新型コロナウィルスの感染が急拡大していることを受けて、30日から臨時的な水際措置がとられ、成田空港では、中国からの直行便で到着した乗客が入国時の検査を受けた。
- 2022.12.31 英仏などヨーロッパ各国 中国からの入国者対象 水際措置強化へ
- 2023.01.04 政府 中国本土からの入国者の水際措置 8日から更に強化へ
- 2023.01.08 中国 「ゼロコロナ」政策終了 入国後の隔離などの措置を撤廃
- 2023.01.11 新型コロナウィルス 1カ月余りで死者1万人超  
→新型コロナウィルスに感染して亡くなった人の数は感染拡大の第8波で急増し、先月以降の1カ月余りで全国で1万人を超えている。
- 2023.01.22 中国 新型コロナ 専門家「人口の約80%感染」 11億人余り感染か  
→中国で新型コロナウィルスの感染データが発表されない状況が続く中、現地の感染症の専門家は「人口のおよそ80%が既に感染した」との見解を明らかにした。具体的な根拠は示されていないが、人口14億のうち11億人余りが感染した可能性がある。  
中国政府は感染を徹底的に抑え込む「ゼロコロナ」政策を終了させたあと、感染者数などの情報について1月8日のデータを最後に発表をとりやめており、感染の詳しい状況はわかっていない。
- 2023.01.26 新型コロナ 「5類」への移行 5月8日とする方針固める 政府
- 2023.02.06 中国 国外への団体旅行を1部解禁 中国各地の空港にツアー客  
→中国政府は、国外への団体旅行について新型コロナウィルスの感染が最初に拡大した3年前の2020年1月以降、国内の旅行会社に対して制限してきたが、6日解禁した。行先はタイやインドネシア、ロシアなど20カ国に限られ、日本は含まれていない。



出展： NHK特設サイト: <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/chronology/?mode=all&target=202302>

- 2023.02.10 マスク着用 “3月13日からは個人の判断で” 政府が決定
- 2023.02.27 中国対象のコロナ水際措置 3月1日から緩和 入国時検査を限定へ  
中国を対象にした新型コロナの水際措置について、政府は3月1日から緩和し、すべての入国者に実施している入国時検査を一部に限定することを明らかにした。一方、陰性証明の提出を求める措置は継続するとしている。
- 2023.03.12 世界の感染状況まとめてきた米大学 コロナ特設サイト更新終了
- 2023.03.13 マスク着用 きょうから個人の判断に  
新型コロナの感染症法上の位置づけが5月8日に「5類」に移行するのを前に、政府は3月13日からマスクの着用を個人の判断に委ねる。  
一方で、高齢者などへの感染を防ぐため、医療機関を受診する際などは着用を推奨するとしていて、政府は混乱が生じないように、SNSやテレビCMなども活用して丁寧に周知していく方針だ。
- 2023.03.15 中国政府 観光ビザ 3年ぶりの再開を発表  
中国政府は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて3年前から停止していた観光ビザの申請を15日から再開すると発表しました。ただ、日本人が15日以内の短期滞在に限ってビザが免除される措置については停止されたままです。

+++++

#### ■編集後記■

この記事を書き始めた2022年12月末から編集を行った2023年3月中旬までの3カ月程の間、世間のコロナを取り巻く環境が大幅に変化し、一気に改善の方向に向かいました。そこでコロナ禍を取り巻く状況の変化をNHKのニュースサイトより取り出し、関連記事の記録として前頁までに時系列で記載しました。

ここ3年の間、コロナ禍の影響で本プログラム生は本来のスケジュール通りには事が運ばず、また研究環境にも様々な影響がありました。色々な場面で苦労の連続ではありましたが、それでも東工大・清華大いずれの学生も出来る事を、限られた時間で最大限に充実したものにすべく、エネルギー溢れる行動力で公私ともに活動しているようです。そのバイタリティーは逞しい限りで「さすが清華プログラム生！」と感心させられます。

日本では3月13日よりマスク着用の義務がなくなり、今後はコロナ禍以前の生活に更に近い環境となります。このタイミングで、2023年4月からはいよいよ東工大19期生が入学してきます。

新しいプログラム生も加わり、今年度は4年ぶりに普段通りのプログラムの活動が進められそうなので、次号からはマスク無しの笑顔が溢れる活動報告が出来る事を願っています。

\* 東京では3月15日に桜（ソメイヨシノ）の開花宣言がありました。史上1位タイの早さ



於 大岡山キャンパス 2023年 3月16日

